

■ワークショップについて

ワークショップの概要

- 「産業に関わる人材の育成」と「連携の促進・活用」をテーマに設定し、テーマ毎にワークショップを実施する。
- 各ワークショップでは、テーマを踏まえて、今後5年間で具体的に取り組むべき内容についてのアイデアを出し、整理する。
- 各ワークショップの検討結果（アイデア）は、次期産業振興アクションプランの重点施策等の基礎資料として活用する。

■各ワークショップについて

ワークショップ①

産業にかかわる人材の育成 ～いつかは開業！あなたを応援します～

◆目指すべき姿

- ・ 開業率の向上
 - 若者、女性をはじめとした起業機運の土壌形成
 - おもしろい（個性的・高付加価値）店舗が増え、事業を拡大
- ・ 新たなビジネスの創出
 - ソーシャル・ビジネス等での地域課題の解決

◆構成員（案）：7名（順不同）

鈴木 彬文氏 （一社）関西学生発イノベーション創出協議会 事業総括マネージャー
 藤田 紫氏 茨木商工会議所 経営支援課 係長
 立命館大学 【調整中】
 田川 雅偉氏 北おおさか信用金庫 総合企画部 次長
 木村 美季氏 起業者（飲食店開業経営スクール okami 予備校）【調整中】
 太田 拓氏 起業者（三遠野菜のお店 ルオータ）
 ファシリテーター 江口 雅祥（㈱関西計画技術研究所 主任研究員）

◆進め方（案）

ワークショップの進め方等の説明		
1回目	背景整理	①現状の整理（関連事業等の説明） 創業促進事業補助金、小売店舗改築（改装）補助金、 利子補給制度、特定創業支援 【商工会議所事業】創業塾など ②アンケート結果の報告
	アイデア抽出・整理	①起業したい人の発掘方法 幅広く（プチ起業、ソーシャルビジネスなど） ②アイデアを事業化する（起業する）ためのサポート アイデアから事業に踏み出すきっかけ ③事業の継続やステップアップのサポート ④学生、子育て世代の女性など、ケース別の検討（適宜）
2回目		
3回目	まとめ	推進委員会との合同会議で報告

ワークショップ②

連携の促進・活用

◆目指すべき姿

- ・市内産業に関わる多くの人の交流促進
 - 産業を活性化させる基盤の強化
 - 新たな事業・製品・サービス等の創出、販路の拡大

◆構成員（案）：7名（順不同）

- 野口 義文氏 立命館大学 研究部 事務部長
- 笹井 直木氏 茨木商工会議所 地域振興課長
- 植野 光庸氏 北おおさか信用金庫 総合企画部 副部長
- 豊島 眞介氏 追手門学院大学 地域文化創造機構 副機構長・教授
- 高石 秀之氏 事業者（高石工業株式会社 代表取締役）
- 北野 文雄氏 事業者（北野酒店、JR 駅前商店会会長）
- 五寶 美奈子氏 市民

◆進め方（案）

		ワークショップの進め方等の説明
1回目	背景整理	①現状の整理（関連事業等の説明） 産業活性化プロジェクト促進事業補助金 地域魅力アップイベント創出育成支援事業補助金 産学連携スタートアップ支援事業補助金 【商工会議所事業】異業種交流会、にぎわいづくり連絡会議 ②アンケート結果の報告
	アイデア抽出・整理	①市内産業の活性化につながる連携 事業者間連携、産学連携、市民との連携など ②連携を創り、広げる（深める）手法 具体的な場・機会、仕組みの作り方 連携を構築し、促進するための支援策
2回目		
3回目	まとめ	推進委員会との合同会議で報告